（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放デイほたる			
○保護者評価実施期間	令和　7年　11月　18日	～	令和　7年　12月　5日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	19家族	（回答者数）	15名
○従業者評価実施期間	令和　7年　11月　18日	～	令和　7年　12月　5日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6名	（回答者数）	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和　8年　1月　10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後にゆっくりと楽しめる子ども集団の場所になっている事。	友達集団と一緒にゆったり過ごす事を基本にしながら、身近な自然遊びや年齢相応のゲームやスポーツ等も楽しめるように取り組んでいます。	全員が同じ取り組みをする中でも、年齢に応じた取り組みになるように配慮やサポートの量を見極めて取り組んでいきます。
2	職員間で子どもの情報共有や活動の中身について考える事を大切にしています。	毎日の活動の振り返りや支援前の情報共有等、職員間の意思疎通を行っています。	その時にわからない事や悩む事を出し合ったり学びあいながらさらに充実させていきます。
3	自然豊かな環境の中で、四季折々の自然物に触れながら五感を豊に育む豊富な経験を積んでいます。	山や川や海等、四季折々の自然の変化や動植物の変化等に気付くように、共に調べたり活動を計画を立てたりしています。	職員がまず興味を持って身近な自然とさらに親しむ中で、子ども達も自分達の好きな事を見つける豊富な経験が詰めるように関わっていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動のスペースが十分余裕があるとはいえません。	雨天で全員が室内で活動する時や、身体が大きく成長した高校生の子ども達が多い日には余計に狭く感じます。	余裕のある活動スペースを確保できるように、既存の公共の建物を活用する準備を進めていきます。
2	余裕を持った職員の配置について。	今年度は変則的な職員の配置もありました。	安定的な事業を行っていくための職員の確保と人材育成について、継続的に行っていきます。
3	個人情報の取り扱いについて。	サービス提供記録の持ち帰り間違いがありました。	子ども達が自分で持ち替える時に自分の物がわかりやすい物に工夫する事と、間違いないかをチェックする職員の役割分担を行い改善していきます。